

科目	政治学	担当	山岸 健太郎	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

講義では、様々なレベルの「政治」の中でも、特に日本政治に対する理解を、「憲法と政治」、「右(保守)／左(リベラル)概念と政治」、「政治と国民の関係」という3つのテーマから深めることを目的とします。私たちは現代日本の政治システムを基準として「政治」を理解しがちですが、他国の政治システムと比較した際、日本のそれには特異な性質があることもまた事実です。他国の政治システムとの比較を通じて、日本政治の理解に努めます。

**【履修注意】**

毎回の講義始めに配布する質問票に質問や意見を記入し、講義終了後に提出して下さい。講義に皆さんからの質問を反映させることを心掛けます。

**【評価方法】**

評価は、平常点が50点、定期試験が50点の合計100点満点でおこないます。平常点は、学期中の小テスト3回(各10点)と毎講義終了後に提出の質問票の評価(1回「優秀者」となる毎に10点、最大で20点を加点)とします。

**【試験について】**

論述式の問題を2題(各25点、合計50点満点)出題します。「重要な概念を理解できているか」、「基本的な事実関係を踏まえているか」、「自分の意見を論理的に表現できているか」等の点を重視して採点します。

再試験対象者の条件： 全講義終了時点で、平常点で20点以上をとっていること。

**【予習・復習】**

科目の特性上、講義には多くの用語・固有名詞が登場します。高校で履修する「現代社会」、「政治・経済」レベルの用語・固有名詞を理解していることが必須となるので、復習時に不明な言葉をよく確認してください。

**【教科書】**

**【参考書】**

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	イントロダクション	講義概要と評価方法確認
2	憲法と政治①	憲法とは
3	憲法と政治②	近代憲法と現代憲法
4	憲法と政治③	日本国憲法の基本原則
5	憲法と政治④	日本国憲法と「平和主義」
6	憲法と政治⑤	憲法に対する国民の理解
7	右(保守)／左(リベラル)概念①	われわれはどのような社会を目指すのか
8	右(保守)／左(リベラル)概念②	右(保守)／左(リベラル)概念とは
9	右(保守)／左(リベラル)概念③	アメリカの二大政党と格差
10	右(保守)／左(リベラル)概念④	格差の拡大の是非
11	国民と政治①	多文化主義と文化的多元主義
12	国民と政治②	グローバリゼーションと文化
13	国民と政治③	グローバリゼーションと日本(1)
14	国民と政治④	グローバリゼーションと日本(2)
15	国民と政治⑤	日本人と「空気」
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ